

令和6年度中期目標・中期計画に対する自己点検・評価結果

1. 概要

本学では、第4期中期目標・中期計画の達成及び教育研究水準の向上を図ることを目的とし、適切に進捗管理を行うため、毎年度自己点検・評価を実施し、評価結果の公表を行っている。

令和6年度においても各部局から報告されたロードマップ(=年度計画)に対する自己点検・評価に基づき、大学評価本部において検証し、学内主要会議(教育研究評議会、経営協議会)を経て自己点検・評価結果を確定した。

2. 評価方法及びプロセス

本学では、中期計画毎に立てた評価指標を学内において更に細分化(全138項目)し、細分化した評価指標項目毎に各部局が6年間のロードマップを立てて取組を進めている。

令和6年度自己点検・評価においてもロードマップに対する達成状況を4段階評価(◎：計画以上、○：計画通り、△：進捗遅れ、×：取組不足)により実施しており、各部局は自己点検・評価結果を踏まえ、次年度以降の計画を見直し、評価指標の達成に向けて取組を進めている。

〔評価プロセス〕



3. 評価結果 一総括一

評価の結果、一部項目に計画以上の取組がみられたほか、概ね計画通り取組が進められていることが確認された。一方、一部項目に進捗の遅れがみられたため、該当項目については担当部署に対してヒアリングを実施し、次年度以降の計画を見直すとともに、評価指標達成に向けた取組を加速していく。

【令和6年度自己点検・評価結果】 ※評価指標を更に細分化し、全138項目で自己点検・評価を実施

	項目数	計画以上 (◎)	計画通り (○)	進捗遅れ (△)	取組不足 (×)
I. 教育研究の質の向上					
(1)社会との共創	5	-	5	-	-
(2)教育	63	-	60	3	-
(3)研究	27	1	26	-	-
(4)その他	17	-	13	4	-
II. 業務運営の改善及び効率化	7	-	7	-	-
III. 財務内容の改善	5	1	3	1	-
IV. 自己点検・評価、情報提供等	7	-	7	-	-
V. その他重要事項	7	-	7	-	-
計 138 項目 (全体割合)		2 (1.4%)	128 (92.8%)	8 (5.8%)	0 (0%)

4. 主な取組

社会との共創

Topic1：「三菱ふそうトラック・バス株式会社との包括的連携協定」を締結

令和6年12月2日、三菱ふそうトラック・バス株式会社との包括的連携協定締結式を挙行了した。

本協定では、本学と三菱ふそうトラック・バス株式会社が人材教育や社会貢献における相互交流を行うほか、両者の強みを生かし、水素・燃料電池を用いたゼロエミッション商用車両およびその周辺技術の開発・普及の加速に向けた取り組み等を行うことを目的としている。

本協定の下、産学連携による人材育成およびイノベーションの促進を通じて、2050年カーボンニュートラルの実現に資する技術開発および人材育成に取り組む。



詳細はこちら

<https://www.yamanashi.ac.jp/50756>

Topic2：「女性のためのリスキリングとキャリアアップセミナー」を開講

令和6年9月から令和7年3月までの履修期間（6カ月）にわたり、「女性のためのリスキリングとキャリアアップセミナー」を開講し、計25名の受講生が修了した。

本事業は、令和2年度に文部科学省の「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業～未来の山梨を作るウーマンズコミュニティプログラム～」に採択されたのを契機に始まった事業である。

令和4年度に事業支援が終了した後も、地域女性の活躍支援のため、改良版セミナーを開講し続けている。



詳細はこちら

<https://www.yamanashi.ac.jp/52096>

教育・研究・その他

Topic1：令和7年度から「全学共通教育改革」を開始

本学では、地域の知の中心として、世界で活躍できる専門知識を持った人材の育成のため、「全学共通教育改革」を令和7年度から同年以降の入学生を対象に実施する。

今回の改革では、すべての学生が「生きる力、語る力、知る力、考える力、解決する力」の5つの力を身につけられるよう、新しく6つの科目群で構成し、「創発PBL」科目群を新設する。

「創発PBL」では、様々な学部学科の学生が同じクラスで学び、各自が習得した知識を持ち寄り、多様な感性や考え方を交えながら、自分の人生で「どう活かすか」を学んでいく。



詳細はこちら

<https://www.cla.yamanashi.ac.jp/about/941>

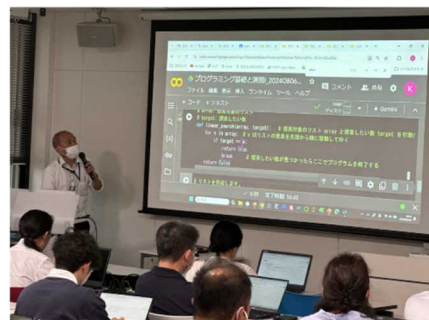
Topic2：山梨県内唯一の「山梨大学免許法認定講習（情報）」を開講

本学では、令和5年10月に「やまなし情報教育推進室」を教育学部附属教育実践総合センターに設置し、山梨県教育委員会と連携して山梨県における情報教育を推進している。

令和6年8月4日、高等学校教諭免許状を持つ現職教員、本学大学院生、ペーパーティーチャー等を対象に、やまなし情報教育推進室と山梨県教育委員会の共催によって情報の免許法認定講習を山梨県内で初めて開講した。

本講習の受講料は本学が全額補助し、今後3年間、免許取得に必要な12科目を1年あたり4科目ずつ開講していく予定。

受講者は、本講習を3年間受講することで高等学校一種免許状（情報）が取得でき、令和6年度は県内外の現職教員や大学院生など39名が受講した。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/49621>

Topic3：「中国・杭州電子科技大学との修士課程デュアルディグリープログラム」の開講式を挙行

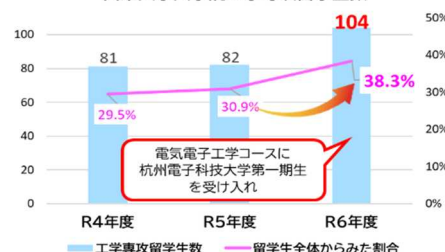
本学では、中国・杭州電子科技大学と平成20年に大学間交流協定を締結し、大学院工学専攻コンピュータ理工学コースにおけるデュアルディグリープログラム等を通じ、教員と学生の相互派遣などの交流を続けている。

令和6年10月、工学専攻電気電子工学コースに設置された修士特別教育プログラム(修士課程デュアルディグリープログラム)において、杭州電子科技大学から第一期生20名を受け入れた。

電気電子工学コースにおいて、学生は双方の大学教員から指導を受け、杭州電子科技大学で1年半、本学で1年間の学習と研究を進めることで、両大学の修士号を取得することができる。



山梨大学大学院工学専攻留学生数



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/50581>

Topic4：「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に採択

本学は、日本学術振興会(文部科学省)が公募した「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に申請し、採択された。

本事業は、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により、研究力強化を図るための環境整備を支援するものである。本学は提案大学として「クリーンエネルギー研究拠点」を申請し、採択された。(連携大学：福島大学)

事業期間は令和7年4月から令和12年3月までの5年間であり、事業規模は総額約50億円(本学割)である。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/20250124pr.pdf>

Topic5 : 「山梨大学個別技術相談会」を開催

本学では毎年、本学主催・山梨中央銀行共催で「山梨大学個別技術相談会」を開催しており、令和6年度は5月および11月に開催した。

この取組は、企業等が抱える技術的な課題や問題等に対し、本学社会連携・知財戦略室のコーディネータが相談に応じ、課題解決に向けて本学の技術・知見等を紹介するものである。

相談会には、金属製品加工業、採石業、農業など幅広い業種の企業9社が参加して多種多様な相談が寄せられ、コーディネータらが課題解決のためのヒントや提案、研究者の技術やノウハウを紹介した。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/50631>

業務運営、財務、情報提供等

Topic1 : 「千葉工業大学との IR 合同研修会」を開催

令和6年8月28日、甲府キャンパスにおいて、本学と千葉工業大学との「IR 合同研修会」を開催し、オンライン参加を含む両大学の教職員ら計30名が参加した。

本研修会は、本学と千葉工業大学が令和4年6月に締結した包括的連携協定に基づく「連携事業」の一環として、今回初めて両大学の教職員が一堂に会して開催されたものである。

両大学がそれぞれの大学におけるIR組織の位置づけ・分析事例および活用状況について発表した後、フリーディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われた。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/49569>

Topic2 : 「令和6年度ステークホルダーミーティング」を実施

令和6年11月1日、甲府市において「令和6年度山梨大学ステークホルダーミーティング」を実施した。本ミーティングは、令和5年度からテーマを教育関係のほか、「大学運営・研究・社会貢献」に拡大して実施しており、令和6年度は規模を拡大して学外会場で実施した。

会議では、全体会において学長が本学の現況について説明した後、分科会ごとに議題に沿って意見交換を行った。

また、会議終了後は、本学関係者とステークホルダーとの懇談会を開催し、相互の交流を深めた。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/50678>